

臨床実習コース

| 社会医学系科目 | 基本臨床実習科目 | 臨床科目 |
| 実習科目 |

これまで学んできたことを
具体的かつ実践的に身につけます



6年次 診療参加型選択科臨床実習

コースの特色

このコースでは、臨床実習が開始されます。

4年次の2学期からは北大病院で診療科を回り、病院という臨床の現場で患者さんと医療スタッフに接しながら、これまで各コースで学んできたことを具体的かつ実践的に身につけていきます。この実習と並行して、実習で認識した課題や疑問点について、臨床統合講義で振り返り、総合的な診療能力の基本を幅広く学びます。社会医学の実習も、この時期に行います。

続く5年次2学期の6カ月間は、大学病院や学外の医療機関で4週間にわたる長期の診療参加型コア科臨床実習を6回行います。

6年次1学期には、一つの診療科や教室あたり4週間にわたる長期の診療参加型選択科臨床実習を3回行います。

臨床実習コースの仕上げとして、臨床病理学の講義や多職種連携・

シミュレーション実習も行います。これらにより、卒業後に役立つ実践的能力も身につけることができます。

このコースの終盤には、卒業試験の一環として全国共通共用試験「臨床実習後 OSCE (Post-CC OSCE)」が行われ、臨床技能・態度が評価されます。その後実施される医師国家試験に合格して晴れて医師になります。

医学科の専門教育では、すべてが必須科目となっています。これも他系学部ときわめて異なるところです。これは患者の生命をあずかる医師に対する社会的要請によるものです。したがって、学部教育中にはすべての科目を学び、医師としての基本を身につけることになります。濃密な履修には、このような理由があります。

EVENT



6年間の学修を経て、いざ学士学位記伝達式

6年間の学修を経て、充実感いっぱいである卒業式です。ここから医療機関や大学、研究機関等へと羽ばたいていくことになります。



全科臨床実習：脳神経内科 電気生理学実習の様子

このように、各診療科に応じた専門性の高い実習も行われます。

医学科生からのメッセージ

教室から病院へ

室原 健人さん [6年生]
東海高等学校(愛知県)卒業

4年次でCBT-OSCEに合格後、臨床実習が始まります。4年次後期～5年次前期では北大病院の全診療科を各1週間実習します。28診療科を目紛しくまわる日々はとても忙しいですが、それまで培ってきた知識を実践できる充実した期間です。

5年次の後期から6年前期まではコア科実習・選択科臨床実習として、大学病院や道内の病院において、1診療科あたり4週間ずつ実習する機会を与えられます。特にこの期間は、卒業試験といった大きな試験も終了しており、目の前の実習に集中して取り組むことができます。実習では実際に自分の担当患者を受け持ち、問診や診察、カルテの記載を行い、検査や手術などにも立ち合います。医療チームの一員として実習を行うことで、将来の進路について深く考えさせられる時期でもあります。

最後に、北海道は他都府県に比べ土地が広く、地域ごとの医療事情も様々です。大学外の病院における実習では、医学的な知識に留まらず座学だけでは学べない地域医療の貴重な経験を得ることができます。関連病院が豊富な北海道大学で、全国から集まった学生と共に医療者としての一歩を踏み出すのはとても有意義であると感じます。

